

コンパクト PCI CPU ボード

aPCI-8011

ハードウェアマニュアル

ご注意

1. 本製品の外観や仕様及び取扱説明書に記載されている事項は、将来予告なしに変更することがあります。
2. 取扱説明書に記載のすべての事項について、株式会社アドテックシステムサイエンスから文書による許諾を得ずに行う、あらゆる複製も転載も禁じます。
3. この取扱説明書に記載されている会社名及び製品名は、各社の商標又は登録商標です。
4. 取扱説明書の内容を十分に理解しないまま本製品を扱うことは、絶対におやめください。本製品の取扱いについては安全上細心の注意が必要です。取扱い説明を十分に理解してから本製品をご使用ください。

製品の保証について

保証規定

1. 保証の範囲

- 1.1 この保証規定は、弊社 株式会社アドテックシステムサイエンスが製造・出荷し、お客様にご購入いただいたハードウェア製品に適用されません。
- 1.2 弊社によって出荷されたソフトウェア製品については、弊社所定のソフトウェア使用許諾契約書の規定が適用されます。
- 1.3 弊社以外で製造されたハードウェア又はソフトウェア製品については、製造元 / 供給元が出荷した製品そのままを提供いたしますが、かかる製品には、その製造元 / 供給元が独自の保証を規定することがあります。

2. 保証条件

弊社は、以下の条項に基づき製品を保証いたします。不慮の製品トラブルを未然に防ぐためにも、あらかじめ各条項をご理解のうえ製品をご使用ください。

- 2.1 この保証規定は弊社の製品保証の根幹をなすものであり、製品によっては、その取扱説明書や保証書などで更に内容が細分化され個別に規定されることがあります。したがって、ここに規定する各条項の拡大解釈による取扱いや特定目的への使用に際しては十分にご注意ください。
- 2.2 製品の保証期間は、製品に添付される「保証書」に記載された期間となり、弊社は、保証期間中に発見された不具合な製品について保証の責任をもちます。
- 2.3 保証期間中の不具合な製品について、弊社は不具合部品を無償で修理又は交換します。ただし、次に記載する事項が原因で不具合が生じた製品は保証の適用外となります。

事故、製品の誤用や乱用

弊社以外が製造又は販売した部品の使用

製品の改造

弊社が指定した会社以外での調整や保守、修理など

- 2.4 弊社から出荷された後に災害又は第三者の行為や不注意によってもたらされた不具合及び損害や損失については、いかなる状況に起因するものであっても弊社はその責任を負いません。
- 2.5 原子力関連、医療関連、鉄道等運輸関連、ビル管理、その他の人命に関わるあらゆる事物の施設・設備・器機など全般にわたり、製品を部品や機材として使用することはできません。もし、これらへ使用した場合は保証の適用外となり、いかなる不具合及び損害や損失についても弊社は責任を負いません。

MEMO

目次

ご注意.....	i
製品の保証について.....	ii
保証規定.....	ii
1. 保証の範囲.....	ii
2. 保証条件.....	ii
MEMO.....	iv
目次.....	v
はじめに.....	vii
安全上のご注意.....	viii
 警告.....	viii
 注意.....	ix
第1章 製品概要.....	1
1.1 概要.....	2
1.2 製品構成.....	2
1.3 製品型番.....	3
1.4 製品仕様.....	4
1.5 ブロック図.....	8
第2章 I/F 仕様と実装.....	11
2.1 各部の名称と機能.....	12
2.1.1 8HP モデル (aPCI-8011/* B).....	12
2.1.2 16HP モデル (aPCI-8011/* S , /* F).....	18
2.2 コネクタピンアサイン.....	24
2.3 システムケース本体への実装.....	30

第3章 BIOSセットアップ	33
3.1 メニューと項目	34
3.2 Main メニュー	36
3.3 Main メニューのサブメニュー	37
3.4 Advanced メニュー	40
3.5 Advanced メニューのサブメニュー	42
3.6 Power メニュー	45
3.7 Boot メニュー	48
3.8 Boot メニューのサブメニュー	49
3.9 Exit メニュー	50
第4章 ドライバのインストール	51
4.1 ディスプレイドライバのインストール	52
4.2 LAN ドライバのインストール	54
第5章 その他の機能	55
5.1 ウォッチドッグタイマ機能	56
製品のメンテナンスについて	a
製品のお問い合わせについて	b
改訂履歴	

はじめに

この取扱説明書は、製品の使用中に分らないことが出てきたときいつでも読み返せるよう、大切に保管してください。また、誰かに取扱いを説明するときには、この取扱説明書を必ず読み返すようにしてください。

取扱説明書が汚れるなどして内容を読むことができないときや紛失したときは、お求めの販売店又は株式会社アドテックシステムサイエンスの各営業所に相談してください。

本製品をお使いいただくには、DOS/V コンピュータや Windows®についての一般的な知識が必要です。この取扱説明書は、お読みになるユーザーがDOS/V コンピュータや Windows®の使い方については既にご存知なことを前提に、製品の使いかたを説明しています。もし、DOS/V コンピュータや Windows®についてご不明な点がありましたら、それらの説明書や関係書籍等を参照してください。

安全上のご注意

ここに示す注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐためのものです。

注意事項は、誤った取扱いで生じる危害や損害の大きさ、又は切迫の程度によって内容を「警告」と「注意」の2つに分けています。

「警告」や「注意」はそれぞれ次のことを知らせていますので、その内容をよくご理解なさってから本文をお読みください。

警告：この指示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡したり重傷を負ったりすることがあります。

注意：この指示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、物に損害を受けたりすることがあります。



感電や火災の危険があります

湿気や水分の多いところ、風呂場などや水を扱うところ、雨の当たるところなどでの使用は絶対におやめください。感電することがあります。

ぬれた手で機器を取扱うことは絶対におやめください。感電することがあります。

機器を分解したり改造したりしないでください。火災を起こしたり、感電したりすることがあります。

発熱、発煙、異臭など、もし機器に異常が生じた場合は、すぐにコンピュータ及び機器の電源を切ってください。そのまま使用すると、火災を起こしたり、感電したりすることがあります。

金属物やそのカケラ、水やその他の液体など、もし異物が機器の内部に入った場合は、すぐにコンピュータ及び機器の電源を切ってください。そのまま使用すると、火災を起こしたり、感電したりすることがあります。

注意

取扱いかたによっては けがをしたり機器を損傷することがあります

設置

ぐらついたり傾いたりなど不安定なところには置かないでください。機器が落ちたり倒れたりしてけがをすることがあります。

環境

直射日光の当たるところや、極端に高温になるところ、又は低温になるところ、湿度の高いところなどでは使用しないでください。機器の故障や誤動作の原因になります。

ほこり

ほこりなどが多いところでは使用しないでください。機器の故障や誤動作の原因になります。もし長期間使用しないときは、ほこりや異物が機器の中に入らないよう、カバーなどで機器を包んでください。

結露

環境に急激な温度差が生じると結露します。もし結露したときは、必ず時間をおき、結露がなくなってからご使用ください。結露したまま使用すると、機器は誤動作をしたり故障したりすることがあります。

落下

機器の持ち運びは慎重に行なってください。落としたりすると、けがをしたり、機器の故障の原因になります。

過電圧・過電流

ケーブルをつないだりはずしたりするときは、コンピュータ及び接続機器の電源を必ず切ってください。電源を入れたままでケーブルの着脱を行うと、過電圧や過電流によって機器をこわすことがあります。

静電気

機器を静電気破壊から守るため、基板上の IC やコネクタの接触部分には手を触れないでください。不用意にさわると、からだにもった静電気によって機器をこわすことがあります。

第1章

製品概要

1.1 概要

aPCI-8011 は、米国 PICMG (PCI Industrial Computers Manufactures Group)による産業用の PCI 規格である CompactPCI 規格に準拠したシングルボードコンピュータです。

PC/AT 互換機のマザーボード機能を持った PFU 社製カードプロセッサを搭載し、コンパクトな 3U サイズでありながら基本性能はもちろん、VGA、LAN、USB、Compact Flash を搭載したオールインワン設計となっています。

1.2 製品構成

本製品は次の 8 点より構成されています。開封後、すぐにご確認ください。万一、不良品や不具合等がありましたら、お買い求めの販売店もしくは弊社までご連絡ください。

1	本体 aPCI-8011
2	キーボード / マウス分岐ケーブル
3	パラレルポート変換ケーブル
4	IDE 延長ケーブル
5	電源ケーブル
6	ハードウェアマニュアル (本書)
7	お客様登録カード / 保証 1
8	CD-ROM (ディスプレイドライバ、LAN ドライバ)

1. お客様カードにご記入の上、是非ともご返送ください。お客様がお買い求めになったボードに万一の故障があった場合などに素早く対応できます。また、よろしければ裏面のアンケートにもご協力ください。アドテックシステムサイエンスは今後もお客様の声を活かした製品作りを心掛けてまいります。

1.3 製品型番

本製品には6種類の型番があります。お買い求めになった製品が、お客様の目的にあったものか、製品名をご確認ください。

(ご要望によりカスタム仕様も承っております。弊社営業までお気軽にお問い合わせ下さい。e-mail:sales@adtek.co.jp TEL.045-331-7575)

型番	品名
aPCI-8011/6B	CompactPCI Celeron 650MHz
aPCI-8011/6S	CompactPCI Celeron 650MHz (FDD/HDD 搭載)
aPCI-8011/6F	CompactPCI Celeron 650MHz (FDD/HDD搭載、CD - ROMドライブ付属)
aPCI-8011/9B	CompactPCI Pentium 933MHz
aPCI-8011/9S	CompactPCI Pentium 933MHz (FDD/HDD搭載)
aPCI-8011/9F	CompactPCI Pentium 933MHz (FDD/HDD搭載、CD - ROMドライブ付属)

本書内において、以下の記述を用いる場合があります。

- aPCI-8011/6 * ----- a PCI-8011/6B、/6S、/6F を意味します。
- aPCI-8011/9 * ----- a PCI-8011/9B、/9S、/9F を意味します。
- aPCI-8011/ * B ----- a PCI-8011/6B、/9B を意味します。
- aPCI-8011/ * S ----- a PCI-8011/6S、/9S を意味します。
- aPCI-8011/ * F ----- a PCI-8011/6F、/9F を意味します。

第1章 製品概要

1.4 製品仕様

aPCI-8011/6*

項目	仕様			
CPU	低電圧版 Intel Celeron プロセッサ 650MHz			
FSB	100MHz			
主記憶メモリ	128MB 144ピン SO-DIMM PC133 対応 SDRAM			
キャッシュメモリ	L1 - 32KB L2 - 256KB			
BIOS	Phoenix Technologies 製 Phoenix FirstBIOS Pro 2.0			
チップセット	Intel 製 815E Chipset North Bridge (82815E) \ South Bridge (82801)			
グラフィック	コントローラ : North Bridge 内蔵 VRAM : メインメモリを使用 最大解像度 : 1600 × 1200 (256色) 最大表示色 : 1,677万色 (1280 × 1024)			
RTC	月差 3分			
ブザー	圧電ブザー			
I/O インターフェース	RS-232C × 2 ポート (16550 互換)			
	パラレルポート × 1 ポート (付属の変換ケーブル使用)			
	キーボード/マウス (付属の分岐ケーブル使用)			
	USB1.1 × 2 ポート			
	10Base-T/100Base-Tx × 1 ポート (REALTEK 社製 RTL8139C)			
	E-IDE × 1 (UltraATA/100)			
	CompactFlash × 1 スロット (TrueIDE 接続により Type I または Type II を使用可能)			
	FDD インターフェース × 1 (2モード対応 720MB / 1.44MB)			
FDD	aPCI-8011/6S、aPCI-8011/6F に搭載			
HDD	aPCI-8011/6S、aPCI-8011/6F に搭載 (40GB 以上)			
CD-ROM ドライブ	aPCI-8011/6F に付属			
バス規格	CompactPCI Rev.2.1 準拠			
対応 OS	Windows98SE/2000/XP			
消費電流	電圧	5V	+12V	
	aPCI-8011/6B	7.4A(max)	未使用	
	aPCI-8011/6S	8.4A(max)	未使用	
	aPCI-8011/6F	CD-ROM 未接続時	8.4A(max)	CD-ROM 未接続時 未使用
		CD-ROM 接続時	9.3A(max)	CD-ROM 接続時 1.5A(max)
外形寸法	CompactPCI 規格準拠 3U サイズ (160mm × 100mm コネクタ/パネル部を除く) 右端システムスロットのバックプレーンを使用することにより、スロットをすべて他のボードに割り当て可能。			

第1章 製品概要

パネル	aPCI-8011/6B	幅：2 スロット (8HP) / 高さ：3U
	aPCI-8011/6S, /6F	幅：4 スロット (16HP) / 高さ：3U
重量	aPCI-8011/6B	約 470 g
	aPCI-8011/6S, /6F	約 750 g
動作環境	動作周囲温度 : 0 ~ + 50 動作周囲湿度 : 30 ~ 90%RH 保存周囲温度 : - 20 ~ + 65 保存周囲湿度 : 10 ~ 95%RH	
保証期間	3 年間 (36 ヶ月)	

第1章 製品概要

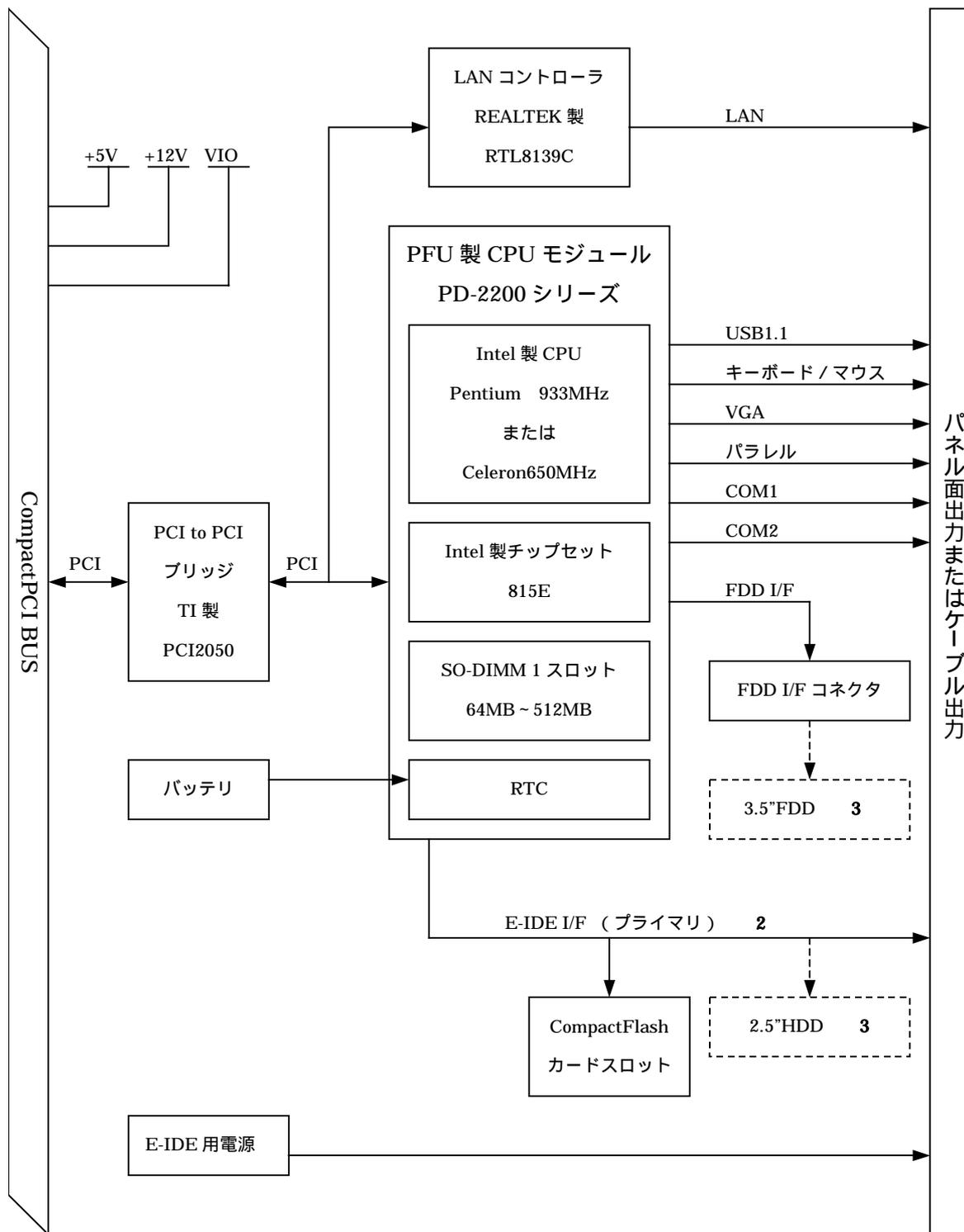
aPCI-8011/9*

項目	仕様		
CPU	低電圧版 Intel Pentium プロセッサ 933MHz		
FSB	100MHz		
主記憶メモリ	256MB 144ピン SO-DIMM PC133対応 SDRAM		
キャッシュメモリ	L1 - 32KB L2 - 512KB		
BIOS	Phoenix Technologies 製 Phoenix FirstBIOS Pro 2.0		
チップセット	Intel 製 815E Chipset North Bridge (82815E) \ South Bridge (82801)		
グラフィック	コントローラ: North Bridge 内蔵 VRAM : メインメモリを使用 最大解像度: 1600×1200 (256色) 最大表示色: 1,677万色 (1280×1024)		
RTC	月差3分		
ブザー	圧電ブザー		
I/O インターフェース	RS-232C×2ポート (16550互換)		
	パラレルポート×1ポート (付属の変換ケーブル使用)		
	キーボード/マウス (付属の分岐ケーブル使用)		
	USB1.1×2ポート		
	10Base-T/100Base-Tx×1ポート (REALTEK社製 RTL8139C)		
	E-IDE×1 (UltraATA/100)		
	CompactFlash×1スロット (TrueIDE接続により TypeI または Type を使用可能)		
	FDD インターフェース×1 (2モード対応 720MB / 1.44MB)		
FDD	aPCI-8011/9S、aPCI-8011/9F に搭載		
HDD	aPCI-8011/9S、aPCI-8011/9F に搭載 (40GB以上)		
CD-ROMドライブ	aPCI-8011/9F に付属		
バス規格	CompactPCI Rev.2.1 準拠		
対応 OS	Windows98SE/2000/XP		
消費電流	電圧	5V	+12V
	aPCI-8011/9B	8.2A(max)	未使用
	aPCI-8011/9S	9.1A(max)	未使用
	aPCI-8011/9F	CD-ROM 未接続時	9.1A(max)
CD-ROM 接続時		10.0A(max)	CD-ROM 接続時 1.5A(max)
外形寸法	CompactPCI 規格準拠 3U サイズ (160mm×100mm コネクタ/パネル部を除く) 右端システムスロットのバックプレーンを使用することにより、スロットをすべて他のボードに割り当て可能。		

第1章 製品概要

パネル	aPCI-8011/9B	幅：2 スロット (8HP) / 高さ：3U
	aPCI-8011/9S, /9F	幅：4 スロット (16HP) / 高さ：3U
重量	aPCI-8011/9B	約 470 g
	aPCI-8011/9S, /9F	約 750 g
動作環境	動作周囲温度 : 0 ~ + 50 動作周囲湿度 : 30 ~ 90%RH 保存周囲温度 : - 20 ~ + 65 保存周囲湿度 : 10 ~ 95%RH	
保証期間	3 年間 (36 ヶ月)	

1.5 ブロック図



- 2 . 本製品の E-IDE I/F は、プライマリのみ実装されています。
この I/F には、HDD、CompactFlash、CD-ROM ドライブのうちいづれか 2 基を接続可能です。
- 3 . aPCI-8011/* S、/* F に搭載されています。

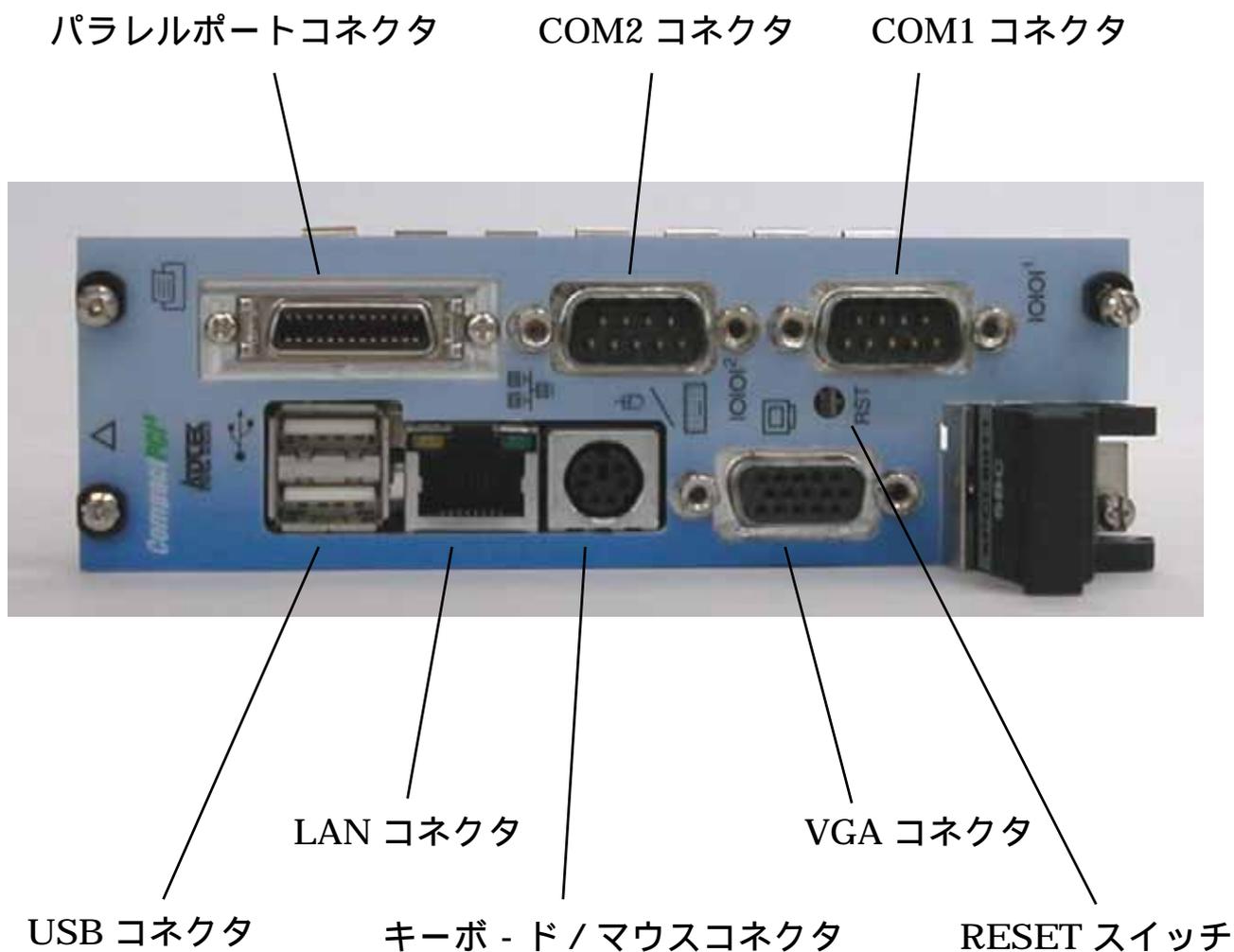
第2章

I/F 仕様と実装

2.1 各部の名称と機能

2.1.1 8HPモデル (aPCI-8011/*B)

以降に、aPCI-8011/*Bの各部の名称と機能について説明します。



パネル面

- **パラレルポートコネクタ**

付属の変換ケーブルを使用し、D-SUB25 ピンコネクタに変換可能です。

- **COM1 コネクタ**

16550 互換の COM ポートです。

- **COM2 コネクタ**

16550 互換の COM ポートです。

- **USB コネクタ**

USB1.1 に対応しています。

- **LAN コネクタ**

10Base-T/100Base-Tx に対応しています。

- **キーボード/マウスコネクタ**

付属の分岐ケーブルを使用し、PS/2 キーボード、PS/2 マウスの使用が可能です。直接接続する場合は、キーボードのみ使用可能です。

- **VGA コネクタ**

D-SUB9 ピンのディスプレイの使用が可能です。

最大解像度 1600×1200 (256 色)

最大表示色 1,677 万色 (1280×1024)

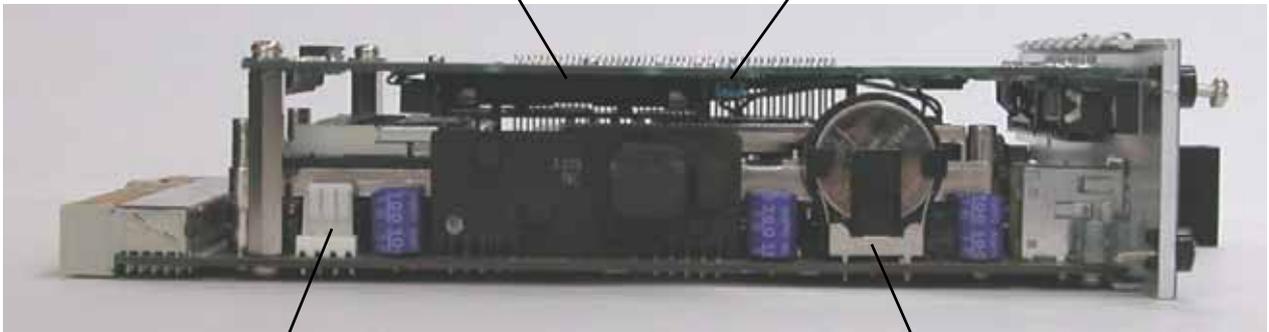
- **RESET スイッチ**

スイッチを押下するとハードウェアリセットします。

スイッチの押下には、ショート防止のため、プラスチック等 (非金属) の棒状のものを使用してください。

CompactFlash カードスロット

CompactFlash 設定ジャンパ



E-IDE 用電源コネクタ (基板面)

バックアップ電池

側面

- **CompactFlash カードスロット** 4
Type または Type の CompactFlash を使用可能です。
CompactFlash は TrueIDE 接続されます。
- **CompactFlash 設定ジャンパ**
CompactFlash のマスター/スレーブ設定用ジャンパです。
 オープン：CompactFlash はスレーブとなる。
 ショート：CompactFlash はマスターとなる。
- **E-IDE 用電源コネクタ（基板面）**
付属の電源ケーブルを使用し、CD-ROM ドライブ、または 3.5”HDD
へ電源供給します。
- **バックアップ電池**
CMOS RAM、RTC のバックアップを行います。

CompactPCIバス J1 コネクタ

FDD I/F コネクタ



E-IDE I/F 44 ピンコネクタ

CompactPCIバス J2 コネクタ

上面

- **E-IDE I/F 44 ピンコネクタ** 4
付属の IDE 延長ケーブルを使用し、CD-ROM ドライブ、3.5”HDD を接続可能です。

- **FDD I/F コネクタ**
ノートパソコン用薄型 3.5”FDD を接続可能です。

- **CompactPCI バス J1 コネクタ**
バックプレーンのシステムスロット P1 コネクタに接続されます。

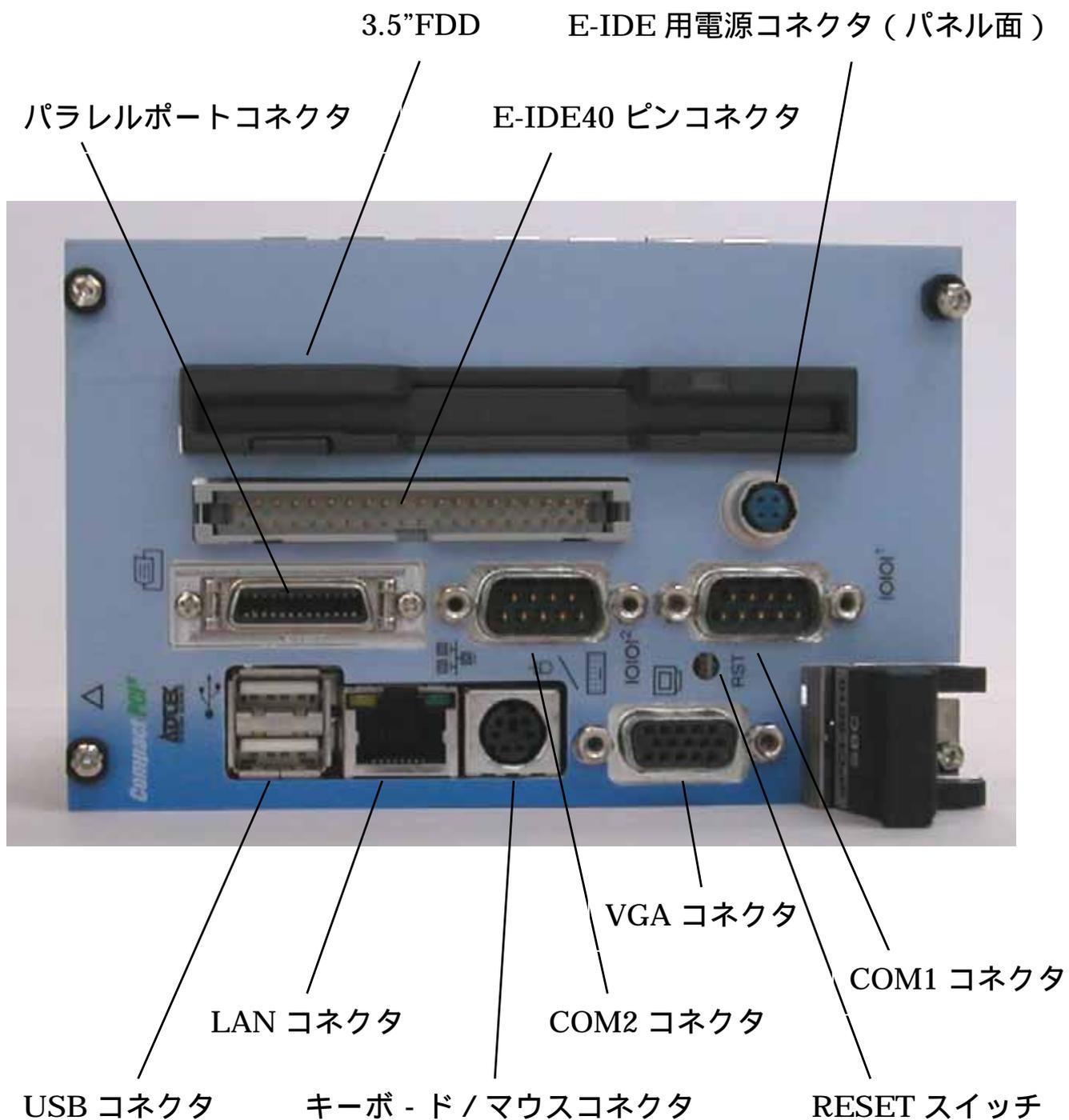
- **CompactPCI バス J2 コネクタ**
バックプレーンのシステムスロット P2 コネクタに接続されます。

- 4 . 本製品の E-IDE I/F は、プライマリのみが実装されているため、接続可能な IDE 機器は 2 基となります。
この I/F には、CompactFlash カードスロット、E-IDE I/F 44 ピンコネクタが接続されています。
以下に接続例を示します。

- 接続例 1 . HDD + CompactFlash
- 接続例 2 . HDD + CD-ROM ドライブ
- 接続例 3 . CompactFlash + CD-ROM ドライブ

2.1.2 16HPモデル (aPCI-8011/*S, /*F)

以降に、aPCI-8011/*S、/*Fの各部の名称と機能について説明します。

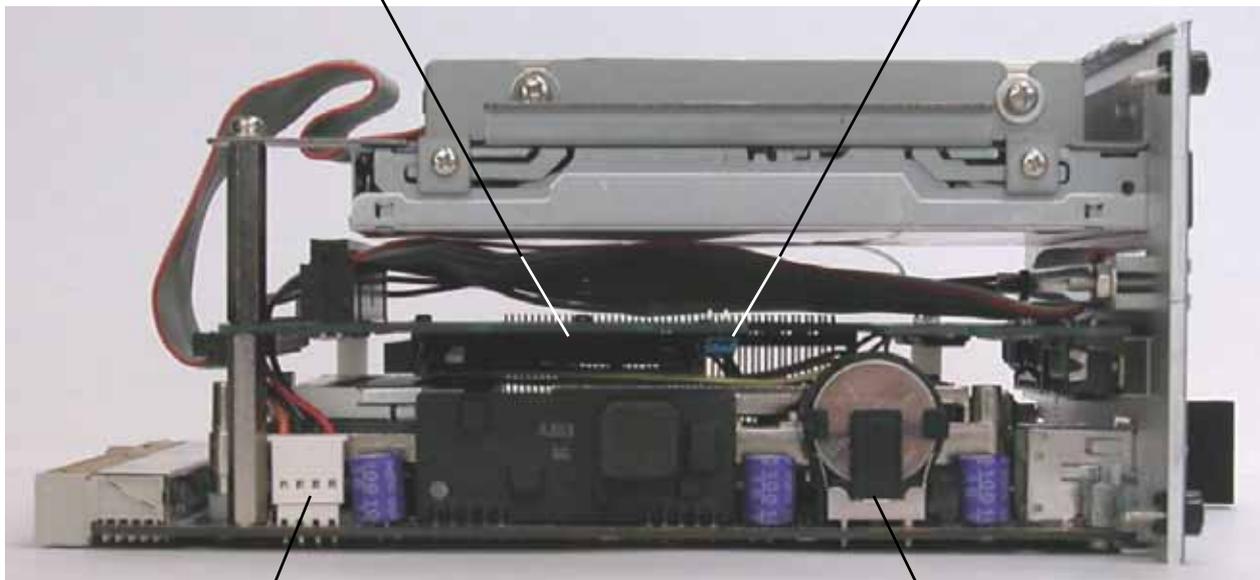


パネル面

- **3.5 ” FDD**
ノートパソコン用薄型 3.5”FDD を搭載しています。
- **E-IDE40 ピンコネクタ** 5
付属の IDE 延長ケーブルを使用し、CD-ROM ドライブ、または 3.5”HDD を接続可能です。
- **E-IDE 用電源コネクタ (基板面)**
付属の電源ケーブルを使用し、CD-ROM ドライブ、または 3.5”HDD へ電源供給します。
- **パラレルポートコネクタ**
付属の変換ケーブルを使用し、D-SUB25 ピンコネクタに変換可能です。
- **COM1 コネクタ**
16550 互換の COM ポートです。
- **COM2 コネクタ**
16550 互換の COM ポートです。
- **USB コネクタ**
USB1.1 に対応しています。
- **LAN コネクタ**
10Base-T/100Base-Tx に対応しています。
- **キーボード/マウスコネクタ**
付属の分岐ケーブルを使用し、PS/2 キーボード、PS/2 マウスの使用が可能です。直接接続する場合は、キーボードのみ使用可能です。
- **VGA コネクタ**
D-SUB9 ピンのディスプレイの使用が可能です。
最大解像度 1600×1200 (256 色)
最大表示色 1,677 万色 (1280×1024)
- **RESET スイッチ**
スイッチを押下するとハードウェアリセットします。
スイッチの押下には、ショート防止のため、プラスチック等 (非金属) の棒状のものを使用してください。

CompactFlash カードスロット

CompactFlash 設定ジャンパ

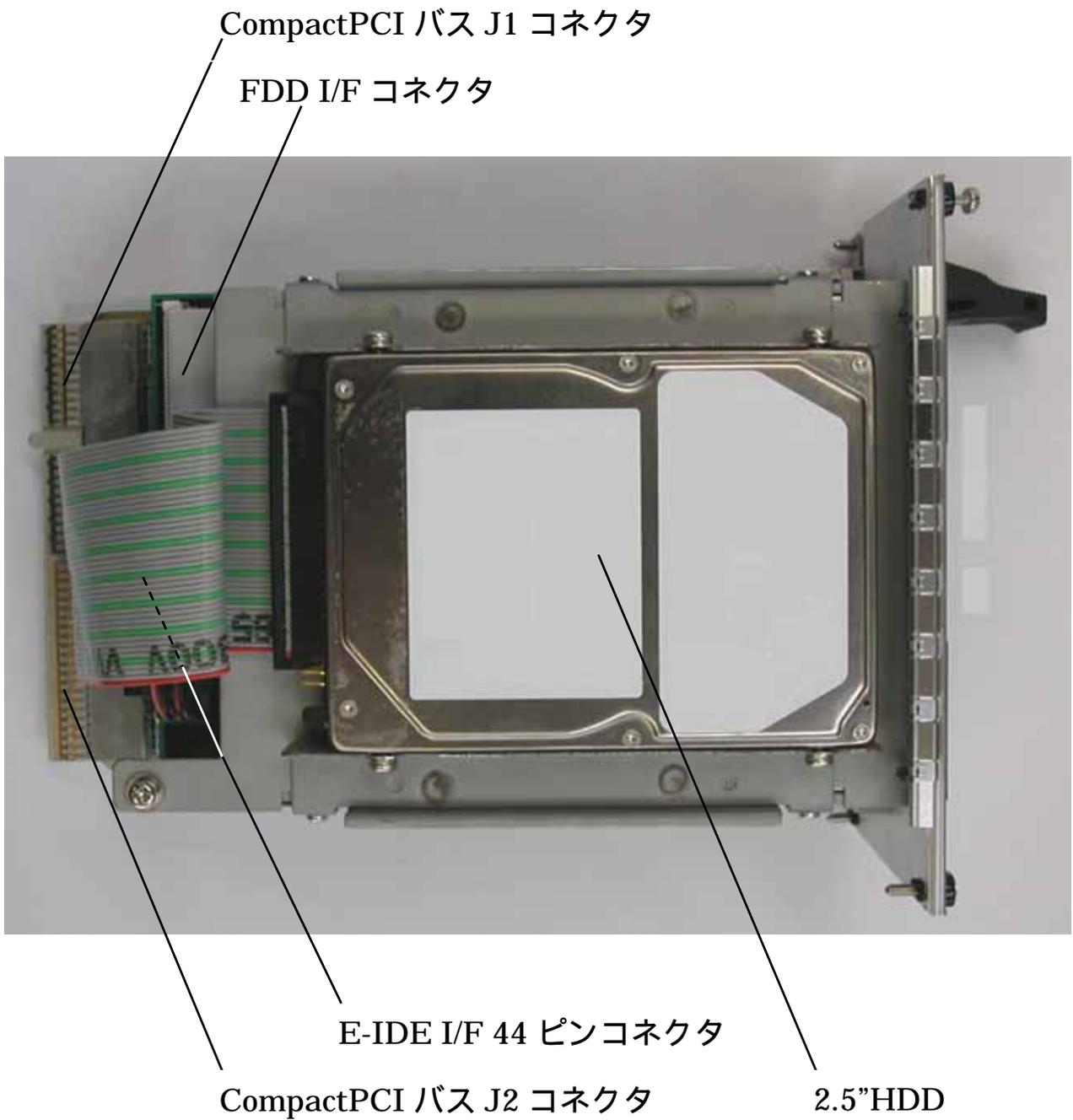


E-IDE 用電源コネクタ (基板面)

バックアップ電池

側面

- **CompactFlash カードスロット** 5
Type または Type の CompactFlash を使用可能です。
CompactFlash は TrueIDE 接続されます。
- **CompactFlash 設定ジャンパ**
CompactFlash のマスター/スレーブ設定用ジャンパです。
オープン：CompactFlash はスレーブとなる。
ショート：CompactFlash はマスターとなる。
- **E-IDE 用電源コネクタ（基板面）**
パネル面の E-IDE 用電源コネクタへケーブル接続されています。
- **バックアップ電池**
CMOS RAM、RTC のバックアップを行います。



上面

- **E-IDE I/F 44 ピンコネクタ** 5
付属の IDE 延長ケーブルを使用し、CD-ROM ドライブ、3.5”HDD 等を接続可能です。
- **2.5 ” HDD** 5
E-IDE I/F 44 ピンコネクタに接続されています。
- **FDD I/F コネクタ**
3.5”FDD に接続されています。
- **CompactPCI バス J1 コネクタ**
バックプレーンのシステムスロット P1 コネクタに接続されます。
- **CompactPCI バス J2 コネクタ**
バックプレーンのシステムスロット P2 コネクタに接続されます。

- 5 . 本製品の E-IDE I/F は、プライマリのみが実装されているため、接続可能な IDE 機器は 2 基となります。
この I/F には、CompactFlash カードスロット、E-IDE I/F 44 ピンコネクタ (2.5 ” HDD 接続済み)、E-IDE I/F 40 ピンコネクタが接続されています。
以下に接続例を示します。

- 接続例 1 . HDD + CompactFlash
- 接続例 2 . HDD + CD-ROM ドライブ
- 接続例 3 . CompactFlash + CD-ROM ドライブ

2.2 コネクタピンアサイン

以降に本製品が提供する各種 I/F コネクタのピンアサインを示します。
必要に応じて使用してください。

尚、各コネクタの配置場所は、“2.1 各部の名称と機能”を参照ください。

FDD I/F コネクタ

ピン No.	説明	ピン No.	説明
1	HDSEL#	2	GND
3	RDATA#	4	GND
5	WRTPR#	6	GND
7	TRK0#	8	GND
9	WGATE#	10	GND
11	WDATA#	12	GND
13	STEP#	14	DRVEN0
15	FDIR#	16	NC
17	MTR0#	18	NC
19	NC	20	NC
21	DSHG#	22	VCC
23	DS0#	24	VCC
25	Index#	26	VCC

CompactFlash カードスロット

ピン No.	説明	ピン No.	説明
1	GND	2	Data3
3	Data4	4	Data5
5	Data6	6	Data7
7	Card Enable1#	8	Address10(GND)
9	ATA Select#(GND)	10	Address9(GND)
11	Address8(GND)	12	Address7 (GND)
13	VCC	14	Address6(GND)
15	Address5(GND)	16	Address4 (GND)
17	Address3(GND)	18	Address2
19	Address1	20	Address0
21	Data0	22	Data1
23	Data2	24	IOIS#(NC)
25	Card Detection2#(NC)	26	Card Detection1#(NC)
27	Data11	28	Data12
29	Data13	30	Data14
31	Data15	32	Card Enable2#
33	Vcc Voltage Sense1#(NC)	34	I/O Read#
35	I/O Write#	36	Write Enable#(Vcc)
37	Interrupt Request	38	Vcc
39	Card Select#	40	VccVoltageSense2#(NC)
41	Reset#	42	I/O Ready
43	Input Acknowledge#(NC)	44	Vcc
45	DiskActive/Slave Present#	46	Pass Diagnostic#
47	Data8	48	Data9
49	Data10	50	GND

E-IDE I/F 44 ピンコネクタ

ピン No.	説明	ピン No.	説明
1	Reset#	2	GND
3	Data7	4	Data8
5	Data6	6	Data9
7	Data5	8	Data10
9	Data4	10	Data11
11	Data3	12	Data12
13	Data2	14	Data13
15	Data1	16	Data14
17	Data0	18	Data15
19	GND	20	NC
21	DMA Request#	22	GND
23	IO Write#	24	GND
25	IO Read#	26	GND
27	IO Ready	28	NC
29	DMA Acknowledge#	30	GND
31	Interrupt	32	NC
33	Address1	34	PDIAG#
35	Address0	36	Address2
37	Chip Select0#	38	Chip Select1#
39	DASP#	40	GND
41	Vcc	42	Vcc
43	GND	44	NC

E-IDE I/F 40ピンコネクタ

ピン No.	説明	ピン No.	説明
1	Reset#	2	GND
3	Data7	4	Data8
5	Data6	6	Data9
7	Data5	8	Data10
9	Data4	10	Data11
11	Data3	12	Data12
13	Data2	14	Data13
15	Data1	16	Data14
17	Data0	18	Data15
19	GND	20	NC
21	DMA Request#	22	GND
23	IO Write#	24	GND
25	IO Read#	26	GND
27	IO Ready	28	NC
29	DMA Acknowledge#	30	GND
31	Interrupt	32	NC
33	Address1	34	PDIAG#
35	Address0	36	Address2
37	Chip Select0#	38	Chip Select1#
39	DASP#	40	GND

E-IDE 用電源コネクタ (基板面)

ピン No.	説明
1	+5V
2	GND
3	GND
4	+12V

E-IDE 用電源コネクタ (パネル面)

ピン No.	説明
1	+12V
2	GND
3	GND
4	+5V

USB コネクタ

ピン No.	説明
1	VCC
2	DATA0 - / DATA1 -
3	DATA0 + / DATA1 +
4	+ GND

LAN コネクタ

ピン No.	説明
1	NWTD +
2	NWTD -
3	NWRD +
4	NC
5	NC
6	NWRD -
7	NC
8	NC

キーボード/マウスコネクタ

ピン No.	説明
1	Keyboard Data
2	Mouse Data
3	GND
4	+5V
5	Keyboard Clock
6	Mouse Clock

VGA コネクタ

ピン No.	説明
1	Red
2	Green
3	Blue
4	NC
5	GND
6	GND
7	GND
8	GND
9	NC
10	GND
11	CRT Sense
12	DDC2BD
13	Horizontal Sync
14	Vertical Sync
15	Display Data Channel Clock

パラレルポートコネクタ

ピン No.	説明	ピン No.	説明
1	Strobe#	2	Data0
3	Data1	4	Data2
5	Data3	6	Data4
7	Data5	8	Data6
9	Data7	10	Acknowledge
11	Busy	12	Paper Empty
13	Printer Select	14	Auto Form Feed#
15	Error#	16	Initialize
17	Printer Select IN#	18	GND
19	GND	20	GND
21	GND	22	GND
23	GND	24	GND
25	GND	26	GND

COM 1 コネクタ

ピン No.	説明
1	Data Carrier Detect1
2	Receive Data1
3	Transmission Data1
4	Data Terminal Ready1
5	GND
6	Data Set Ready1
7	Request To Send1
8	Clear To Send1
9	Ring Indicator1

COM 2 コネクタ

ピン No.	説明
1	Data Carrier Detect2
2	Receive Data2
3	Transmission Data2
4	Data Terminal Ready2
5	GND
6	Data Set Ready2
7	Request To Send2
8	Clear To Send2
9	Ring Indicator2

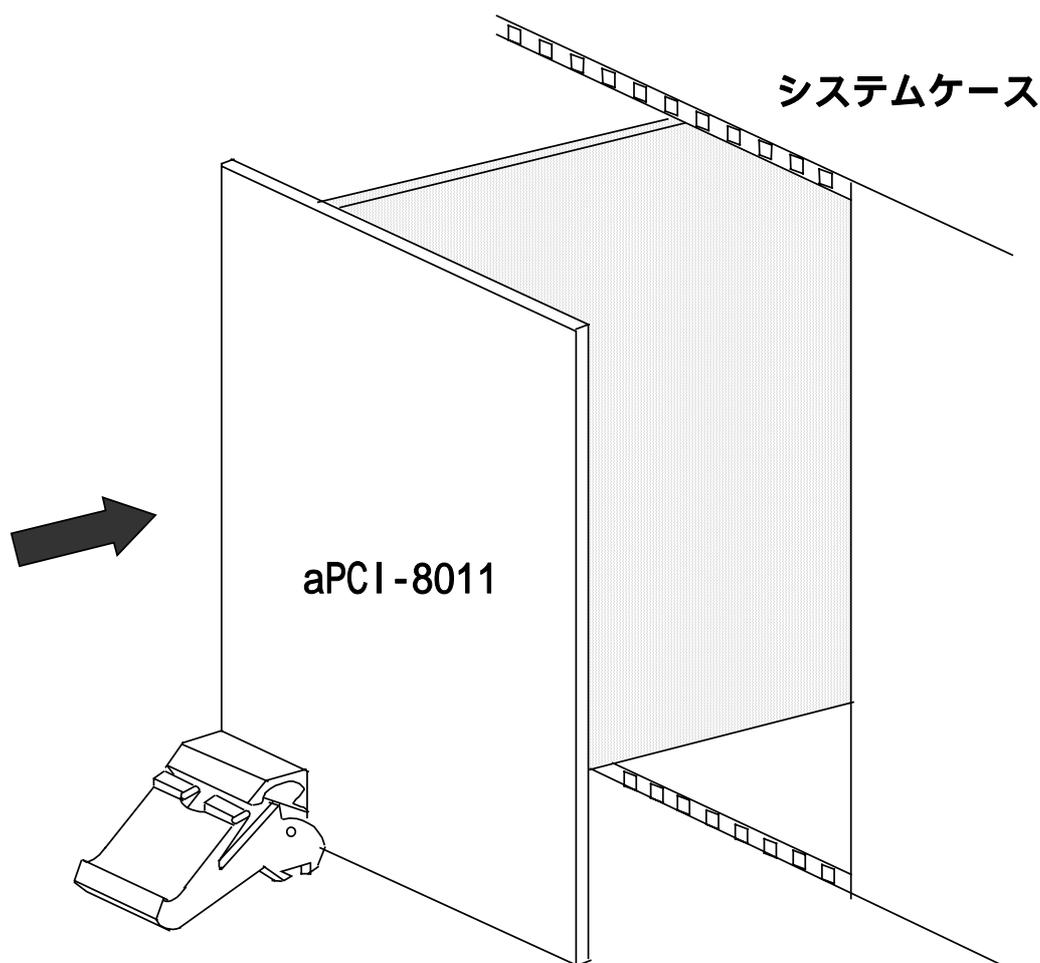
2.3 システムケース本体への実装

本ボードをシステムケース本体に実装する方法を以下に示します
システムケース付属のマニュアル等も合わせてご参照ください

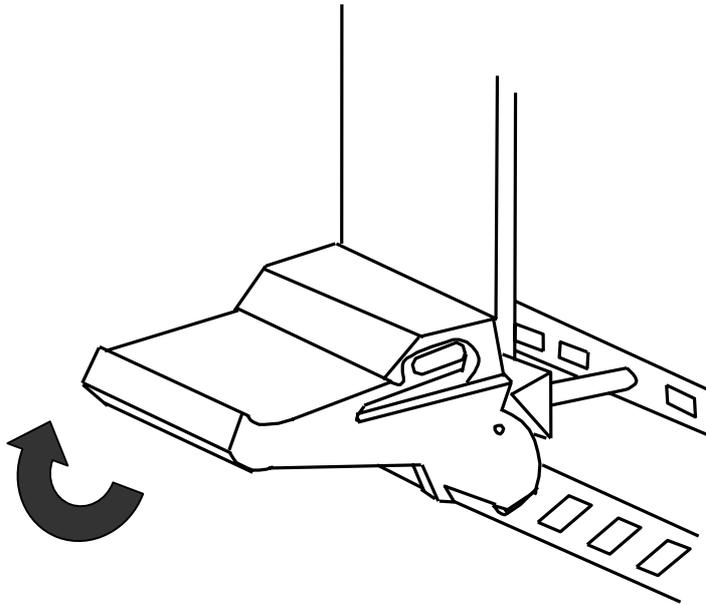
警告

実装作業は必ずシステムの電源プラグを抜いた状態で行ってください。
通電状態で行うと、システム本体、本ボードの破壊、
作業者の感電の恐れがあります。

(1) ケースのシステムスロットに本ボードを差し込みます。



- (2) このとき、ハンドルのつめがひっかかるまで挿入し、ハンドルを持ち上げ、確実に実装してください。



第3章

BIOSセットアップ

3.1 メニューと項目

BIOS SETUP とは、ハードウェア環境を設定するためのプログラムです。設定内容は、バッテリーでバックアップされた CMOS RAM に保存されます。

BIOS SETUP の起動

本製品の電源投入後、画面左下に”Press<F2>to Enter Setup”と表示されている間に <F2> キーを押すと起動します。

BIOS SETUP 画面でのキー操作について

BIOS SETUP の実行時は、使用できるキーが画面下に一覧表示されます。キーと意味について以下に示します。

- F1** BIOS SETUP に関する全体のヘルプが表示されます。
- Esc** Exit メニューに移動します。ただし、サブメニューを表示している場合はメニューに戻ります。

設定する項目にカーソルを移動します。

メニューを切り替えます。
- / +** 項目の設定値を変更します。
- Enter** が付いている項目で <Enter> キーを押すと、サブメニューが表示されます。
- F9** すべてのメニューの設定値を標準設定に戻します。
- F10** すべての設定を保存します。ただし、メインメニューにいるときのみ機能します。

メニューと項目

BIOS SETUP のメニューは以下の 5 つに分かれています。さらに、Main メニュー、Advanced メニューおよび Boot メニューには、より詳細な設定を行うためのサブメニューが用意されています。

メニュー名	内容
Main	日時やドライブの設定などの基本的なシステムコンフィグレーションに関する設定を行います。
Advanced	内蔵 I/O のポートアドレスやチップセットに関連した高度な設定を行います。
Power	省電力モードに関する設定を行います。
Boot	起動時に関する設定を行います。
Exit	BIOS SETUP の終了、設定値の変更および保存を行います。

以降、各メニューの項目の詳細について説明します。

注意

本製品では、非サポートの設定があります。
その項目での設定は、必ず網掛け () の設定を行ってください。

3.2 Main メニュー

- System Time** : 時 : 分 : 秒を設定します。
<Tab> キーまたは<Enter> キーで次のフィールドにカーソルを移動して、数値を入力します。
- System Date** : 月 / 日 / 年 (西暦) を設定します。
<Tab> キーまたは<Enter> キーで次のフィールドにカーソルを移動して、数値を入力します。
- LegacyDiskette A** : フロッピーディスクドライブ A を使用するかどうかを設定します。
使用可能なフロッピーディスクドライブは、3.5 インチ 1.44MB のみです。
Disabled フロッピーディスクドライブを使用しません。
1.44MB 3¹/₂ 3.5 インチ 1.44MB ドライブを使用します。
- LegacyDiskette B** : フロッピーディスクドライブ B を使用するかどうかを設定します。
Disabled フロッピーディスクドライブを使用しません。
1.44MB 3¹/₂ 3.5 インチ 1.44MB ドライブを使用します。
- Primary Master** : マスタードライブのハードディスクタイプ (容量やシリンダ数など) を設定します。
- Primary Slave** : スレーブドライブのハードディスクタイプ (容量やシリンダ数など) を設定します。
- Memory Cache** : メモリキャッシュの設定を行います。
- System Memory** : 基本メモリ容量が表示されます。この項目は、POST 時に自動的に検出します。変更はできません。
- Extended Memory** : 拡張メモリ容量が表示されます。この項目は、POST 時に自動的に検出します。変更はできません。

3.3 Main メニューのサブメニュー

ここでは、Main メニューのサブメニューについて説明します。

(1) Primary Master / Primary Slave 詳細設定

- Type** : ハードディスクの接続の有無や各パラメータを設定します。
- Auto** 自動的にハードディスクの接続の有無やタイプを設定します。接続されている場合、各パラメータ（シリンダ数、ヘッド数、セクタ数、プリコンプ値）はハードディスクの情報に従って自動的に設定されます。
 - None** ハードディスクを未接続とします。
 - CD-ROM** CD-ROM（IDE）を接続します。
 - ATAPI Removable** ATAPI Removable デバイスを接続します。
 - User** 各パラメータ（シリンダ数、ヘッド数、セクタ数、プリコンプ値）を直接指定します。
- Multi_Sector Transfers** : 複数のセクタのデータを一括して転送するかどうかを設定します。Type に CD-ROM、ATAPI Removable または User を指定した場合に設定可能です。
- Disabled** 1 セクタずつ転送します。
 - 2Sectors ~ 16Sectors** 一括して転送するセクタ数を選択します。数値が大きくなるほどデータの転送速度は上がりますが、一括転送の効果が現れるセクタ数は、ドライブのキャッシュ容量に左右されます。
- LBA Mode Control** : LBA（論理ブロックアドレッシング）モードを使用するかどうかを設定します。Type に CD-ROM、ATAPI Removable または User を指定した場合に設定可能です。
- Disabled** LBA モードを使用しません。
 - Enabled** LBA モードを使用します。Enabled を設定する場合は、LBA モードに対応したドライブが必要です。

32 Bit I/O : 内蔵 IDE コントローラと CPU の間で 32 ビット転送を行うかどうかを設定します。Type に Auto、CD-ROM、ATAPI Removable または User を指定した場合に設定可能です。

Disabled 32-Bit I/O を使用しません。

Enabled 32-Bit I/O を使用します。

Transfer Mode : データの転送モードを設定します。Type に CD-ROM、ATAPI Removable または User を指定した場合に設定可能です。

各モードの設定では数値が大きくなるほど転送速度が上がりますが、設定した各モードに対応したドライブが必要です。

Standard PIO Mode 0 に設定します。

Fast PIO 1 ~ 4 Fast PIO Mode 1 ~ 4 のいずれかを選択します。

FPIO 3/DMA 1 Fast PIO Mode 3 または DMA Mode 1 を使用します。

FPIO 4/DMA 2 Fast PIO Mode 4 または DMA Mode 2 を使用します。

Ultra DMA Mode : Ultra DMA Mode を使用するかどうかを設定します。Type に CD-ROM、ATAPI Removable または User を指定した場合に設定可能です。

Disabled Ultra DMA Mode を使用しません。

Mode 0 ~ 5 Ultra DMA の転送モードを選択します。
Ultra DMA Mode を設定する場合は、Ultra DMA Mode に対応したドライブが必要です。

(2) MemoryCache 設定

Memory Cache : 2次キャッシュ (L2 キャッシュ) を使用するかどうかを指定します。

Disabled L2 キャッシュを使用しません。

Enabled L2 キャッシュを使用します。

Cache System BIOS Area : システム BIOS のエリアをキャッシュ対象とするかどうかを指定します。

Disabled システム BIOS のエリアをキャッシュ対象としません。

Enabled システム BIOS のエリアをキャッシュ対象とします。

Cache Video BIOS Area : ビデオ BIOS のエリアをキャッシュ対象とするかどうかを指定します

Disabled ビデオ BIOS のエリアをキャッシュ対象としません。

Enabled ビデオ BIOS のエリアをキャッシュ対象とします。

3.4 Advanced メニュー

PCI Configuration : 外部 PCI スロットに対する資源の割当ての設定を行います。

I/O Device Configuration : 内蔵機器の I/O ポートアドレスや割込みレベルの設定などを行います。

Legacy USB Support : USB をサポートしていない環境 (DOS 等) で、USB キーボードや USB マウスを、PS/2 キーボードやマウスとして使用するかどうかを指定します。

Enabled USB デバイスを従来のデバイスとして使用できます。

Disabled USB デバイスは使用しません。

Installed O/S : 使用する OS を指定します。

Win2000 Windows2000、WindowsXP 向けの設定

Win98 Windows98 向けの設定

Other 他の OS 向けの設定

Enable ACPI : パワーマネージメントインタフェースとして ACPI を使用するかどうかを指定します。

Yes ACPI を使用します。

No ACPI を使用しません。

Reset Configuration Data : Extended System Configuration DATA (ESCD) 領域のデータ初期化を指定します。[Yes]に変更後、再起動すると、データが初期化されます。

PCI カード等のコンフリクトを原因とする起動エラー (Invalid System Configuration Data) が発生した場合、本機能により解決できる場合があります。

PS/2 Mouse : PS/2 タイプのマウスを使用するかどうかを指定します。
Disabled にしても、マウスで使用される IRQ12 は解放されません。

Enabled PS/2 タイプのマウスを使用します。

Disabled PS/2 タイプのマウスを使用しません。

Auto Detect マウスを自動検出します。

LAN Controller : チップセット (Intel 815E) 内の LAN Controller を使用するかどうかを指定します。

Enabled LAN Controller を使用します。

Disabled LAN Controller を使用しません。

PXE : チップセット (Intel 815E) 内の PXE (Pre-boot execution Environment) を使用するかどうかを指定します。

Enabled PXE を使用します。

Disabled PXE を使用しません。

AC97Audio : チップセット (Intel 815E) 内の AC'97 サウンドコントローラを使用するかどうかを指定します。

Enabled AC'97 サウンドコントローラを使用します。

Disabled AC'97 サウンドコントローラを使用しません。

Video Output : Video の出力先を指定します。

CRT & LCD CRT と LCD を同時に表示します。

CRT only CRT のみ表示します。

Primary IDE Cable : 使用する IDE ケーブルタイプを指定します。

Auto Detect ケーブルタイプを自動判別します。

80-Wire Ultra ATA/100 まで対応可能な IDE80 芯 (40pin) ケーブルを使用します。

40-Wire Ultra ATA/33 まで対応可能な IDE40 芯 (40pin) ケーブルを使用します。

3.5 Advanced メニューのサブメニュー

ここでは、Advanced メニューのサブメニューの項目について説明します。

(1) PCI Configuration 設定

PCI Device, Slot #n : PCI デバイスまたはスロット#1 ~ #4 のコンフィグレーションを行います。

PCI/PNP ISA IRQ Resouce Exclusion : レガシーISA デバイスが使用する IRQ および PCI 接続の CardBus スロットに装着されたレガシーPC カードが使用する IRQ を予約します。

(2) I/O Device Configuration 設定

Serial Port A : シリアルポート A (または B) の I/O ポートアドレスおよび Serial Port B IRQ (割込みレベル) を指定します。

Enabled 内蔵シリアルポート A (または B) を使用します。
Enabled を選択した場合は、以下の詳細設定項目が表示されます。

Base I/O address I/O ポートアドレスを以下の4種類の中から選択します。

3F8 , 2F8 , 3E8 , 2E8

Interrupt 割込みレベルを以下の2種類から選択します。

IRQ4 , IRQ3

AUTO 内蔵シリアルポート A (または B) を使用します。
I/O ポートアドレスおよび割込みレベルは自動的に設定されます。

Disabled 内蔵シリアルポート A (または B) を使用しません。

Parallel Port : パラレルポートの動作モード、I/O ポートアドレスおよび IRQ (割込みレベル) を指定します。

Enabled 内蔵パラレルポートを使用します。Enabled を選択した場合は、以下の詳細設定項目が表示されます。

MODE 内蔵パラレルポートの動作モードを指定します。

Bi-directional 双方向モードで動作します。

ECP ECP モードで動作します。

EPP EPP モードで動作します。

Output only 単方向モードで動作します。

Base I/O address I/O ポートアドレスを以下の2種類の中から選択します。
278 , 378

Interrupt 割込みレベルを以下の2種類から選択します。
IRQ5 , IRQ7

DMA channel DMA チャンネルを指定します。動作モードを ECP に指定した場合にのみ設定可能です。

DMA1 DMA チャンネル 1 を使用します。

DMA3 DMA チャンネル 3 を使用します。

AUTO 内蔵パラレルポートを使用し、動作モードのみを選択します。I/O ポートアドレス、割込みレベルおよび DMA チャンネルは自動的に設定されます。

Disabled 内蔵パラレルポートを使用しません。

(3) PCI Device, Slot 設定

Option ROM Scan : PCI デバイスに搭載されているオプション ROM をスキャンするかどうかを指定します。

Enabled スキャンします。
Disabled スキャンしません。

Enable Master : 接続されているデバイスを PCI バスマスターデバイスとして使用するかどうかを指定します。

Enabled バスマスターデバイスとして使用します。
Disabled バスマスターデバイスとして使用しません。

Latency Timer : バスマスターデバイスとして使用する場合の PCI バスの使用優先度を指定します。

Default 標準の優先度とします。
0020h ~ 00E0h 優先度を PCI バスクロック数で指定します。高速なデバイスに対して大きな値を指定すると、高い性能が得られます。

(4) PCI/PNP ISA IRQ Resource Exclusion 設定

IRQ n : ISA 割り込み用に IRQ10 および IRQ11 を予約します。予約された IRQ は、レガシーISA デバイスおよび Card Bus スロットに装着されたレガシーPC カードで使用されます。

Available IRQn を予約しません。
Reserved IRQn を予約します。

備考

CardBus コントローラを PCI バスに接続している場合でも、ISA 割り込みを必要とするレガシーPC カード (16 bit PC カード) を使用する際は ISA 割り込み用の IRQ が必要です。本設定で ISA 割り込み用の IRQ を予約しておく必要があります。

3.6 Power メニュー

ACPI Standby Mode : ACPI のスタンバイモードを選択します。

- S3** 作業内容をメモリに保存し、メモリ以外の全てのデバイスの電源を切ります。
- S1** CPU の命令実行を停止します。省電力の効果は、「S3」に設定した場合より小さくなります。S3 では問題が発生するデバイスを接続している場合に使用します。

After Power Failure : 停電発生後の、電源供給再開時の動作を指定します。

- Stay Off** 電源スイッチを押すまで電源投入されません。
- Last State** 停電が発生する前の電源状態に戻ります。
- Power On** 停電が発生する前の電源状態にかかわらず電源投入されます。

Wake On LAN : APM 環境での Wake On LAN の使用を指定します

- Disabled** Wake On LAN を使用しません。
- Enabled** Wake On LAN を使用します。

Wake On LAN from S5 : ACPI 環境で、S5(SoftOff)ステートからの Wake On LAN の使用を指定します。ACPI の場合、S5 以外のステートからの Wake On LAN は、ソフトウェア(OS)で指定します。

- Disabled** Wake On LAN を使用しません。
- Enabled** Wake On LAN を使用します。

- Power Savings** : APM インタフェースによる省電力モードのレベルを設定します。
- Disabled** 自動的に省電力モードに移行しません。ただし、ボタン押下による Suspend/Resume は行えます。
 - Customized** 本メニューの Idle Mode、Standby Timeout および Auto Suspend Timeout の各項目を個別に設定できるようにします。
 - Maximum Power Saving** バッテリ稼働時間を重視した省電力モードに、Idle Mode、Standby Timeout および Auto Suspend Timeout の値を設定します。
 - Maximum Performance** パフォーマンスを重視した省電力モードに、Idle Mode、Standby Timeout および Auto Suspend Timeout の値を設定します。
- Idle Mode** : 一定時間キー入力やデータの入出力がない場合に、アイドルモードに移行するかどうかを設定します。アイドルモードでは、CPU のクロック速度が落ちた状態になります。
- On** アイドルモードに移行します。
 - Off** アイドルモードに移行しません。
- Standby Timeout** : キー入力やデータの入出力がない場合に、自動的にスタンバイモードに移行するまでの時間を設定します。スタンバイモードでは、ディスプレイの表示が消えて、ハードディスクのスピンを停止した状態になります。
- 1 ~ 16Minutes** スタンバイモードに移行するまでの時間を設定します。
 - Off** 自動的にスタンバイモードに移行しません。

Auto Suspend : 自動的にサスペンドするまでの時間を設定します。

Timeout

- 5 ~ 60Minutes** サスペンドするまでの時間を設定します。
- Off** 自動的にサスペンドモードに移行しません。

Suspend Mode : サスペンドモード時の処理を設定します。

- Suspend** CPU を停止状態にします。
- Save To RAM** メモリの内容を DRAM に退避し、DRAM をセルフリフレッシュに、CPU および各種 I/O の電源を切断します。
- Save To Disk** メモリの内容をハードディスク上の Save To Disk 領域に退避してから、すべての電源を切断します。
Suspend モード、Save To RAM モードに比べてこのモードへの移行・復帰には時間がかかります。

Resume On Modem Ring : モデムの Ring 信号を検出して、サスペンド状態からレジューム操作を行うかどうかを指定します。

- Off** レジュームしません。
- On** レジュームします。

Resume On Time : 指定した時刻に、サスペンド状態からレジュームするかどうかを指定します。

- Off** レジュームしません。
- On** レジュームします。

Resume Time : Resume On Time (レジュームする時刻) を、時 : 分 : 秒の 24 時間で指定します。この設定は、Resume On Time が「On」のとき有効です。また、Save To Disk モードでは意味をもちません。

3.7 Boot メニュー

Boot-time Diagnostic Screen : POST 時の診断画面やメッセージを表示するかどうかを指定します。

Enabled Post の診断画面やメッセージを表示します。

Disabled Post の診断画面やメッセージを表示せず
に、ロゴ（グラフィックイラスト）のみを表示
します。

QuickBoot Mode : QuickBoot を行うかどうかを指定します。

Enabled メモリチェックなどを簡素化し、Post 処理を短
縮します。

Disabled 通常の Post 処理を行います。

Boot Device Priority : 起動ドライブの優先順位を設定します。

3.8 Boot メニューのサブメニュー

起動ドライブの優先順位を設定します。以下のキー入力を行うことによって優先順位の変更および、そのドライブからの Boot を有効にするか無効にするか設定することができます。

+ キー : カーソルのあるエントリを上位の優先順位にします。

- キー : カーソルのあるエントリを下位の優先順位にします。

Shift + 1 キー : そのドライブから Boot を有効にするか無効にするかを切り替えます。

Enter キー : 各エントリの前に+がある場合は、詳細情報を表示します。各エントリの前に-がある場合は、詳細情報を非表示にします。

Removable Device : Removable なドライブからの Boot を行います。
Removable なドライブとは、ドライブレターが A となるドライブのことです。フロッピーディスクや LS-120 などがこれにあたります。
対象となるドライブについては、詳細情報を表示することによって確認することができます。

Hard Drive : ハードディスクからの Boot を行います。
IDE ディスク、SCSI ディスク、IDE インタフェースに準拠したデバイスなどがこれにあたります。
対象となるドライブについては、詳細情報を表示することによって確認することができます。

CD-ROM Drive : ATAPI インタフェース準拠の CD-ROM からの Boot を行います。

注意

上記のドライブを IDE インタフェースの PrimarySlave に接続する場合は、Main メニューの PrimarySlave の設定を [Auto] に変更し、システムを再起動後、再度 Setup を起動してください。

3.9 Exit メニュー

Exit Saving Changes : 設定内容を CMOS RAM に保存して、BIOS SETUP を終了します。

Exit Discarding Changes : 設定内容を保存せずに、BIOS SETUP を終了します。

Load Setup Defaults : 設定内容を標準設定に戻します。

Discard Changes : CMOS RAM に保存されている設定を読み出して、前回の設定内容に戻します。

Save Changes : 現在の内容を CMOS RAM に保存します。

第4章

ドライバのインストール

4.1 ディスプレイドライバのインストール

4.1.1 Windows98SE 用ディスプレイドライバのインストール手順

Windows98SE 用ディスプレイドライバのインストール手順を以下に示します。

[INF ファイルの適用]

1. Intel(R) Chipset Software Instllation Utility の実行
 - 1-1 ドライバ格納ディスクを CD-ROM ドライブに挿入します。
 - 1-2 [CD-ROM Drive]:¥INF を開き、infnst_enu.exe を実行します。
 - 1-3 Intel(R) Chipset Software Instllation Utility が表示されますので、[Next] ボタンをクリックします。
 - 1-4 License Agreement が表示されますので[Yes]ボタンをクリックします。
 - 1-5 Readme Information が表示されますので[Next]ボタンをクリックします。
 - 1-6 Install Shield Wizard complete が表示されますので[Yes,I Want to restart my computer now]を選択して[finish]ボタンをクリックします。

[ドライバのインストール]

2. Intel(R) 82815 Embedded Graphics Controller の更新
 - 2-1 ドライバ格納ディスクを CD-ROM ドライブに挿入します。
 - 2-2 コントロールパネルから画面をダブルクリックします。
 - 2-3 [設定]タブをクリックし、[詳細]ボタンをクリックします。
 - 2-4 [アダプタ]タブをクリックし、[更新]ボタンをクリックします。
 - 2-5 [デバイスドライバの更新ウィザード]が表示されますので[次へ]ボタンをクリックします。

[特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する]をチェックして[次へ]ボタンをクリックします。
 - 2-6 [ディスク使用]ボタンをクリックし、配布ファイルのコピー元に [CD-ROM Drive]:¥GRAPHICS¥81x_9x¥Graphics¥Win9x を指定して[OK] ボタンをクリックしてください。
 - 2-7 デバイスの選択ウィンドウが表示されますので「Intel(R) 82815 Embedded Graphics Controller」を選択し[OK] ボタンをクリックします。
 - 2-8 [デバイスドライバの更新ウィザード]に戻ったら[次へ]ボタンをクリックします。
 - 2-9 ファイルのコピーが始まります。ファイルのコピーの途中でバージョンの競合が検出される場合があります。その場合は全て[いいえ(N)]ボタンをクリックして検出されたファイルは必ず更新してください。
 - 2-10 [完了]ボタンをクリックして[デバイスドライバの更新ウィザード]を終了してください。
 - 2-11 画面のプロパティを閉じると再起動を促すメッセージが出力されますのでシステムを再起動してください。

4.1.2 Windows2000/XP 用ディスプレイドライバのインストール手順

Windows2000/XP 用ディスプレイドライバのインストール手順を以下に示します。

[INF ファイルの適用]

1. Intel(R) Chipset Software Installation Utility の実行
 - 1-1 ドライバ格納ディスクを CD-ROM ドライブに挿入します。
 - 1-2 [CD-ROM Drive]:¥INF を開き、infinst_enu.exe を実行します。
 - 1-3 Intel(R) Chipset Software Installation Utility が表示されますので、[Next] ボタンをクリックします。
 - 1-4 License Agreement が表示されますので[Yes]ボタンをクリックします。
 - 1-5 Readme Information が表示されますので[Next]ボタンをクリックします。
 - 1-6 Install Shield Wizard complete が表示されますので[Yes,I Want to restart my computer now]を選択して[finish]ボタンをクリックします。

[ドライバのインストール]

2. Intel(R) Chipset Graphics Software の実行
 - 2-1 ドライバ格納ディスクを CD-ROM ドライブに挿入します。
 - 2-2 [CD-ROM Drive]:¥GRAPHICS¥win2k_xp67¥Graphics を開き、Setup.exe を実行します。
 - 2-3 Intel(R) Chipset Graphics Software が表示されますので、[次へ]ボタンをクリックします。
 - 2-4 使用許諾契約書が表示されますので[はい]ボタンをクリックします。
 - 2-5 Install Shield Wizard complete が表示されますので[コンピュータを今すぐ再起動する]を選択して[完了]ボタンをクリックします。

4.2 LAN ドライバのインストール

4.2.1 Windows98SE 用 LAN ドライバのインストール手順

Windows98SE 用 LAN ドライバのインストール手順を以下に示します。

1. 「新しいハードウェアの追加ウィザード」ウィンドウが表示されたら「次へ」ボタンをクリックします。
2. 「使用中のデバイスに最適な・・・」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。
3. ドライバの検索場所を指定するウィンドウが表示されます。
 - 3-1. ドライバ格納ディスクを CD-ROM ドライブに挿入します。
 - 3-2. 「検索場所の指定」にチェックを入れ、欄に「[CD-ROM Drive]:¥LAN¥WIN98SE¥」と入力します。
 - 3-3. 「次へ」ボタンをクリックします。ドライバファイルの検索が始まります。
4. 「次のデバイス用のドライバファイルを検索します」と表示されます。「次へ」ボタンをクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。終了するまでお待ちください。
5. ファイルのコピーが終了後、「新しいハードウェアデバイスに必要な・・・」メッセージが表示されます。「完了」ボタンをクリックします。
6. 「システム設定の変更」ウィンドウが表示されます。

今すぐ再起動するかたずねてくるので、「はい」ボタンをクリックして再起動します。

4.2.2 Windows2000 の場合

Windows2000 標準の LAN ドライバをご使用ください。

4.2.3 WindowsXP の場合

WindowsXP 標準の LAN ドライバをご使用ください。

第5章

その他の機能

5.1 ウォッチドッグタイマ機能

本ボードに搭載しているウォッチドッグタイマを使用することにより、プログラムが永久ループに入ったり、CPUの暴走などの異常を検出し、システムをリセットすることができます。

以降に、ウォッチドッグタイマを操作するためのI/Oポートについて説明します。また、ソフトウェアマニュアルも合わせてご参照ください。

ウォッチドッグタイマコントロールレジスタ				I/Oアドレス=300h			Output
Bit7	Bit6	Bit5	Bit4	Bit3	Bit2	Bit1	Bit0
-	-	WDTC	WDTS	-	WDT2	WDT1	WDT0

WDTC、WDTS

本ビット群で、ウォッチドッグタイマのディゼーブル/イネーブルおよび、動作モードの設定をします。

- 0 0 : ウォッチドッグタイマをディゼーブルにする。
- 0 1 : ウォッチドッグタイマをディゼーブルにする。
- 1 0 : ウォッチドッグタイマ (RESET モード) をイネーブルにする。
- 1 1 : 設定禁止

WDT2 ~ WDT0

本ビット群への設定値が、ウォッチドッグタイマのタイムアウト値として設定されます。

- 0 0 0 : 1 秒に設定
- 0 0 1 : 2 秒に設定
- 0 1 0 : 4 秒に設定
- 0 1 1 : 8 秒に設定
- 1 0 0 : 1 6 秒に設定
- 1 0 1 : 3 2 秒に設定
- 1 1 0 : 6 4 秒に設定
- 1 1 1 : 1 2 8 秒に設定

ウォッチドッグタイマロードレジスタ				I/O アドレス=300h			Input
Bit7	Bit6	Bit5	Bit4	Bit3	Bit2	Bit1	Bit0
-	-	-	-	-	-	-	-

本レジスタをリードすると、WDT2 ~ WDT0 の設定値がウォッチドッグタイマへ再設定されます。リード時のデータは意味のないデータです。

製品のメンテナンスについて

ハードウェア製品の故障修理やメンテナンスなどについて、弊社 株式会社アドテックシステムサイエンスでは、製品をお送りいただいて修理/メンテナンスを行い、ご返送する、センドバック方式で承っております。

保証書に記載の条件のもとで、保証期間中の製品自体に不具合が認められた場合は、その製品を無償で修理いたします。

保証期間終了後の製品について修理が可能な場合、又は改造など保証の条件から外れたご使用による故障の場合は、有償修理となりますのであらかじめご了承ください。

修理やメンテナンスのご依頼にあたっては、保証書を製品に添え、ご購入時と同程度以上の梱包状態に『精密部品取扱い注意』と表示のうえお送りください。

また、ご送付されるときは、製品が迷子にならないよう、前もって受け担当者をご確認ください。

製品が弊社に到着するまでの事故につきましては、弊社は責任を負いかねますので、どうか安全な輸送方法をお選びください。

以上の要項は日本国内で使用される製品に適用いたします。

日本の国外で製品を使用される場合の保守サービスや技術サービス等につきましては、弊社の各営業所にご相談ください。

製品のお問い合わせについて

お買い求めいただいた製品に対する次のようなお問い合わせは、お求めの販売店又は株式会社アドテックシステムサイエンスの各営業所にご連絡ください。

- ・ お求めの製品にご不審な点や万一欠品があったとき
- ・ 製品の修理
- ・ 製品の補充品や関連商品について
- ・ 本製品を使用した特注製品についてのご相談

技術サポート 技術的な内容のお問い合わせは、「ファックス」「郵送」「E-mail」のいずれかにて、下記までお問い合わせください。また、お問い合わせの際は、内容をできるだけ詳しく具体的にお書きくださるようお願いいたします。

お問い合わせは電話でもお受けできますが、電話の場合は、お問い合わせの内容によってはすぐにお答えできないことがありますので、あらかじめご了承ください。

技術的な内容のお問い合わせ先

株式会社 アドテック システム サイエンス テクニカルサポート
〒240-0005
神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町 134 YBP ウエストタワー 8F
E-Mail support@adtek.co.jp
Fax 045-331-7770

改訂履歴

発行年月日 2004年04月18日 第1版

発行年月日 2004年11月04日 改訂第2版
・所在地変更

CompactPCIシリーズ
CPU ボード
a P C I - 8 0 1 1
ハードウェアマニュアル

第2版発行 2004年11月04日
発行所 株式会社 アドテック システム サイエンス
〒240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134
YBP ウエストタワー 8F
Tel 045-331-7575 (代) Fax 045-331-7770

落丁・乱丁はお取り替えいたします。

不許複製

CPCI-070-041104
© ADTEK SYSTEM SCIENCE Co.,Ltd. 2004年